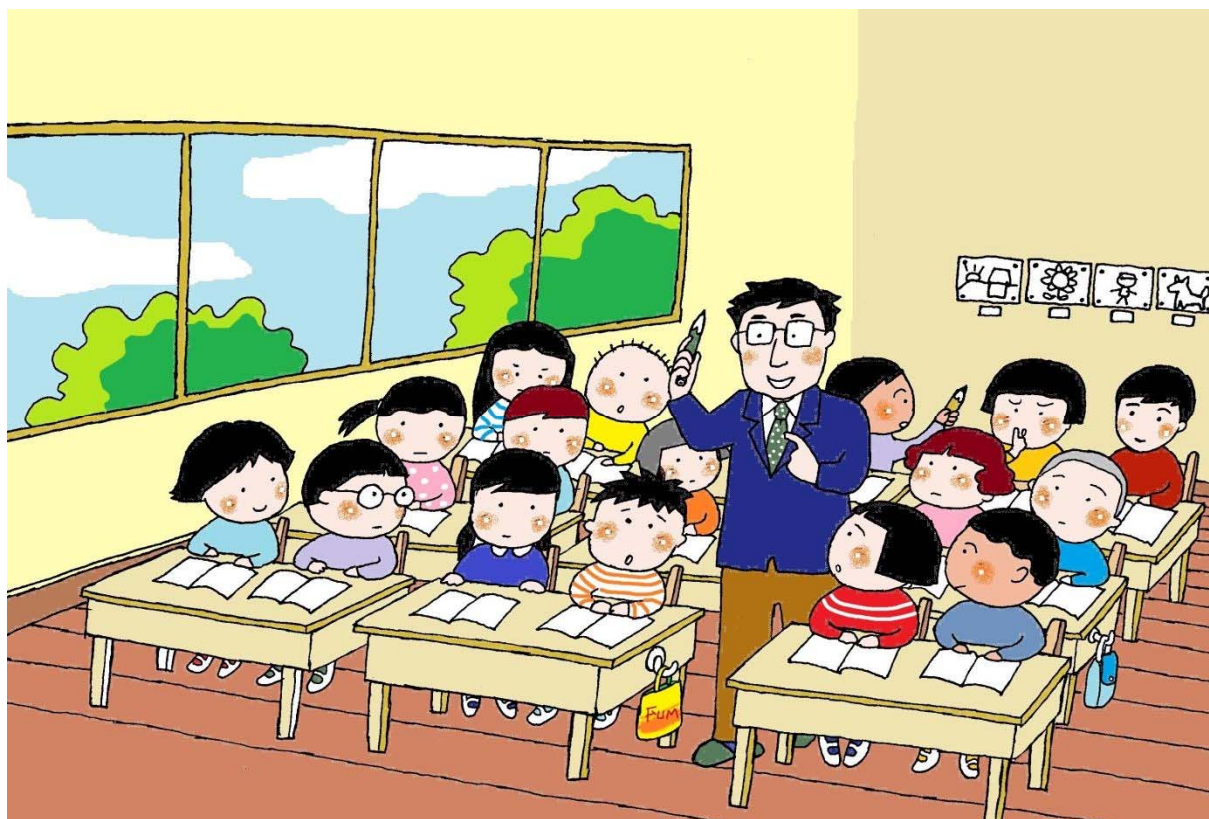


令和6年度 佐伯市教育行政重点施策



佐伯市教育委員会

令和6年3月

令和6年度教育行政の基本方針と重点施策

昨今の教育行政は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により健やかな体の育成、教育の国際化、スポーツの機会の充実などの施策の遂行には多大な影響を受けました。感染症の流行は続いているもののウイルスは弱毒化し、世の中は回復基調に向かっています。令和6年度は、コロナ禍で変化していく社会への対応が求められると同時に、少子高齢化による人口減少、ICTの急速な進歩など教育を取り巻く様々な状況に向き合わねばなりません。

佐伯市教育委員会では、「人が学び、人が生き、人が育つ持続可能な教育」の創造を目標に「さいき“まなび”プラン2023」を策定しました。これからの「オーガニックシティさいき」を支える人づくりのために、ふるさと佐伯を愛し、ユニバーサルな視野に立つ人材の育成を目標として、次のように、7つの重点施策を掲げ、総合的、計画的に諸施策を推進してまいります。

計画の目標

「人が学び、人が生き、人が育つ持続可能な教育」の創造

重点目標 これからの「オーガニックシティさいき」を支える人づくり

【重点施策】

施策1	子どもが授業に夢中になり、自ら学び共に学ぶ姿を目指し、授業づくり・授業改善に生き生きと取り組む教師・学校の実現
施策2	子どもの居場所づくりの推進
施策3	望ましい食生活と食習慣を身に付け、自らの健康を管理することのできる子どもの育成
施策4	共生社会の形成を担う人材の育成と夢を抱く青少年の育成
施策5	郷土の文化財や伝統文化の保存・継承と活用の推進
施策6	ライフステージに応じたスポーツの推進
施策7	地域の特性に応じた教育による少子化への対応

【令和6年度重点事業】

- 1 子どもが授業に夢中になり、自ら学び共に学ぶ姿を目指し、授業づくり・授業改善に生き生きと取り組む教師・学校の実現
 - (1) 「子どもに付きたい力を意識した密度の濃い授業」の実現に向けた単元構想に基づく授業改善
 - ①学校全体で取り組む組織的な授業改善
 - *コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育の推進
 - *学校教育目標と連動した授業改善テーマの設定
 - *カリキュラム・マネジメントを取り入れた授業の改善
 - ②子どもに付きたい力を明確にした授業の実施
 - *付きたい力を育成することができたときの児童生徒の姿の想定
 - *学習評価のイメージを明確にした単元の構想
 - *付きたい力、評価規準を明確にすることの必要性を考えた授業実践
 - ③「情報の取り出し」を意識した授業の実施
 - *数多くの情報の中から課題解決に必要な情報の選び出しと、取り出した情報を使って、思考・判断・表現する授業
 - ④必然性のあるペア・グループ活動の実施

<ul style="list-style-type: none"> *授業のねらいの達成に向けたペア・グループ活動における「具体的な児童生徒の姿の想定」 *授業のどの場面でペア・グループ活動を行うかといった「考えを交流する場面の想定」 ⑤主体的・対話的で深い学びの実現 <ul style="list-style-type: none"> *「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の充実 *児童生徒の主体性を促す手立ての工夫 ⑥指導主事の学校訪問による授業改善指導 <ul style="list-style-type: none"> *定期的な訪問による授業力向上に向けた指導助言 ⑦授業力向上アドバイザーの活用 <ul style="list-style-type: none"> *経験年数の浅い教員等を対象に、個に応じた課題解決に向けた指導の実施 <p>(2) 佐伯市学力向上実践研究事業に係る研究指定校、佐伯市学校教育研究会教科部会と連携した研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> *研究指定校の研究テーマをもとにした各教科部会の研究内容の設定 *研究指定校の校内研修計画の確認、授業参観、研究協議の実施
<p>2 子どもの居場所づくりの推進</p>
<p>(1) 佐伯市教育支援センター教室「グリーンプラザ」の機能の充実</p> <p>①不登校の子どもを持つ保護者が思いを語り合える場の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> *不登校の子どもたちの保護者が抱える悩みや思いを語り合える「親の会」の設置 <p>(2) 児童生徒の学校内外における居場所づくり</p> <p>①学校内での居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> *学校内での別室設置や放課後支援 *登校支援員の配置・活用 <p>②学校外での居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> *公民館（コミュニティセンター）や放課後児童クラブ、NPO 法人等の関係機関や団体と連携した、放課後や休日の児童生徒の居場所づくりへの支援
<p>3 望ましい食生活と食習慣を身に付け、自らの健康を管理することのできる子どもの育成</p>
<p>(1) 学校給食を活用した食育の推進</p> <p>児童生徒一人一人が望ましい食生活と食習慣を身に付け、自らの健康を管理する資質の育成を目指すとともに、家庭との連携も図っていきます。</p> <p>①学校給食による食育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> *「生きた教材」となる学校給食の提供 *給食だよりや給食試食会等による家庭への積極的な情報提供 <p>(2) 栄養教諭等による食育の充実</p>

学校給食に積極的に佐伯産食材を活用することにより、教育と地場産業振興の両面から地産地消の推進を図ります。

また、児童生徒の心身の健全な発達を図るため、安全・安心な食材である有機食材の積極的な活用を推進します。

①地産地消の推進

- * 日々の学校給食における佐伯産食材の積極的な使用
- * 佐伯産特別栽培米を使用した米飯給食の提供
- * 佐伯産食材を計画的、安定的に供給できる体制づくり

②有機食材の活用推進

- * 佐伯産有機栽培米を使用した米飯給食の提供
- * 学校給食の食材として活用可能な有機野菜の積極的な使用

4 共生社会の形成を担う人材の育成と夢を抱く青少年の育成

(1) 人材育成の推進

- ①地域のこれからの担う若い世代が集まる取組
- ②社会問題や地域課題などを考える学習機会の提供
- ③他の関連部局との連携

(2) 地域に根差した生涯学習の拠点施設

- ①公民館講座（生涯学習・自主講座）や学級等の充実
- ②市民が自主的・自発的に学ぶサークルや団体の育成

(3) 青少年に対し、体験学習の機会を提供

- ①最先端の科学テクノロジーの体験や自然科学を中心とした学習機会を提供
- ②豊かな体験活動の積極的な展開

(4) 様々な体験学習に対応する組織づくり

- ①地域における指導者の発掘と指導者グループの組織づくり

(5) 市立図書館を活用し、読書に親しむ環境づくりと読書活動の推進

- ①幼児期からの読み聞かせの実践
- ②読み聞かせボランティア及び子ども読書リーダー（子ども司書）の育成
- ③地区公民館図書室の充実

5 郷土の文化財や伝統文化の保存・継承と活用の推進

(1) 文化財・伝統文化の保存と継承

市内の文化財を守り伝えるため、保存・継承活動の支援、新たな文化財の掘り起こし、継承者の育成を行います。

①文化財・伝統文化の保存・継承

- * 市内の文化財・伝統文化の保存・継承を担う団体等への支援
- * 佐伯城跡の国指定史跡化後の保存・活用を図る計画書の作成
- * 埋蔵文化財に影響を及ぼす開発等への適切な対処と調査・保存の推進

②指定文化財の見直しと新たな文化財・伝統文化の掘り起こし

- * 市指定文化財の調査・確認
- * 新たな文化財の掘り起こしと指定・登録の推進
- * 滅失の危機にある文化財の受入れと保管場所の検討

③文化財・伝統文化の担い手の育成

- * 地域の文化財・伝統文化の伝承活動の支援による後継者の育成
- * 地域の文化財・伝統文化の鑑賞・発表機会の充実

(2) 文化財・伝統文化に対する市民の理解を深め、活用を推進

令和5年度に文化庁から認定を受けた佐伯市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の継続的な保存・活用を行います。また、市民の貴重な財産である文化財や伝統文化について市民の理解を深めるため、学習する機会を提供するとともに、情報発信により活用を図ります。

①歴史文化を学び、体験する機会の提供

- * 地域の歴史文化を学ぶ講座や教室による学習機会の充実
- * 子どもたちが歴史文化を体験する機会の充実

②学校・地域と連携した事業の実施

- * 学校や地域と連携し、地域の文化財・伝統文化を教材とした出前授業等の実施による子ども学芸員の育成

③文化財・伝統文化についての情報発信

- * 地域の文化財・伝統文化の情報をデジタル化して発信し、観光資源として活用
- * 地域で受け継がれる祭りや伝統行事などを核とした地域づくり・まちづくりの支援

(3) 行きたくなる歴史文化施設を目指す取組の推進

歴史資料館、平和祈念館やわらぎ、国木田独歩館など、市内の歴史文化施設の利用を促進するため、郷土資料の調査・研究を行い、施設の活動に生かすとともに、市民が運営に協力する体制づくりを行います。

①郷土資料の調査・研究

- * 佐伯市所蔵資料や佐伯に関連する資料の調査・研究の推進

②展示資料の充実

- * 寄贈、購入により資料を収集し、特別展を開催するなど展示を拡充

③市民参加の施設運営

- * 歴史資料館の運営に関わる市民サポーターを育成し、サポーターとともに調査研究、講座・教室等を行い、歴史文化施設の機能を高める取組を実施
- * 主催事業などの企画に市民の意見を反映した魅力ある施設づくりの推進

6 ライフステージに応じたスポーツの推進

(1) 市民が気軽に参加できる環境づくりの取組

市民のスポーツや運動への取組の推進とライフステージに応じたスポーツ環境の整備や日常的なスポーツ活動の場づくりを推進します。また、生涯スポーツ・競技スポーツ推進のために、スポーツイベントの開催や市民体力測定を実施することで、スポーツを始めるきっかけづくりやスポーツに取り組む機会の創出、競技人口の増加を図ります。

①市民誰もが気軽にスポーツに取り組むことができる環境整備

- *スポーツ推進委員の育成・充実
- *支部スポーツ協会、地区スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブの連携と組織強化
- *各種競技団体への協力依頼

②スポーツイベント（大会・教室等）と、市民体力測定の実施

- *スポーツ協会（各支部・各地区・各競技団体）でのスポーツ大会や運動教室の開催
- *スポーツ推進委員、各支部・地区スポーツ協会と連携し市民体力測定を実施

③各種大会や教室の開催についての積極的な広報活動

- *市報やケーブルテレビ、市公式HP、ブログなどのSNSなどを利用して情報発信

(2) 体育施設の効率的・効果的な活用の促進

市中心部の体育施設は、学校施設を含めて利用者が多く、新たな利用者を受け入れる余裕がない状況ですが、周辺部の施設の中には十分に利用されていない施設もあります。そこで、施設の全体的な有効活用を促進するため、地域の特性を活かした活動の場となるよう利用方法を検討します。

①体育施設の利用促進

- *スポーツ推進委員、各支部・地区スポーツ協会と連携し地域の身近な体育施設の利用方法を検討し、施設の利用を促進

②佐伯市総合運動公園の有効活用

- *スポーツ振興や市民の健康づくりの拠点として、各種施設の優れた機能を活用した利用促進
- *本市のスポーツ拠点施設として計画的な整備・充実
- *指定管理者と連携してスポーツ環境を充実させるための施設運営の取組

7 地域の特性に応じた教育による少子化への対応

(1) 子どもの人数に応じた学校の適正規模の検討

①学校の適正規模の検討

- *学校の統廃合を含めた適正規模での運営の検討
- *小規模校の存続を図るための小規模特認校制度の検討

- (2) 地域の「ひと・もの・こと」を活用した生活科、総合的な学習の時間の充実
- ①地域や児童生徒の実態に応じたカリキュラムの策定
 - ②付けたい力に即した探究的・協働的な活動の充実
 - ③副読本を活用したふるさと教育の充実
 - ④本市の学校教育の内容や各校の特色等をホームページ等で市内外に周知
- (3) 校区内における児童生徒への通学支援
- ①スクールバス及びスクールタクシーの運行
 - ②通学費の補助

【主な予算】

施策1 子どもが授業に夢中になり、自ら学び共に学ぶ姿を目指し、授業づくり・授業改善に生き生きと取り組む教師・学校の実現

◆主要事業	予算額
○表現教育を通じた人間力育成支援事業	1,386 千円
○佐伯市学力向上実践研究事業	10,802 千円

施策2 子どもの居場所づくりの推進

◆主要事業	予算額
○絆づくりサポート事業	514 千円
○スクール・メンタルケア推進・充実事業	24,607 千円
○グリーンプラザ（臨床心理士・教育支援センター指導員・自立支援指導員報酬）	6,617 千円

施策3 望ましい食生活と食習慣を身に付け、自らの健康を管理することのできる子どもの育成

◆主要事業	予算額
○地場産品活用推進事業	9,998 千円

施策4 共生社会の形成を担う人材の育成と夢を抱く青少年の育成

◆主要事業	予算額
○成人教育講座	1,125 千円
○コミュニティ活性化事業	880 千円
○公民館講座	927 千円
○高齢者教室	3,690 千円
○地域における青少年教育	2,053 千円
○青少年健全育成会議補助金	1,520 千円
○読み聞かせ連絡協議会補助金	60 千円

施策5 郷土の文化財や伝統文化の保存・継承と活用の推進

◆主要事業	予算額
○佐伯城跡保存活用計画策定事業	5,830 千円
○文化財保護対策事業	2,934 千円
○歴史資料館運営事業	3,871 千円
○遺跡群発掘調査事業	2,324 千円
○平和祈念館管理事業	6,822 千円
○国木田独歩館管理事業	2,543 千円

施策6 ライフステージに応じたスポーツの推進

◆主要事業	予算額
○地域スポーツ育成補助金	6,595 千円
○市民体力向上事業	200 千円
○野岡体育館耐震化事業	20,550 千円
○総合運動公園野球場人工芝改修事業	44,214 千円

施策7 地域の特性に応じた教育による少子化への対応

◆主要事業	予算額
○小・中学校一般管理事業（生活科、総合的な学習の時間等における需用費、使用料）	1,936 千円
○小・中学校スクールバス運行事業費	98,345 千円
○小・中学校通学援助費	3,307 千円